

新しい人と出会う。新しい自分に出会える。

# 福祉施設体験学習

☎ 小田原市社会福祉協議会  
35-4000

施設名	日程	定員	対象者
小田原市障害児通園施設 「つくしんぼ教室」	7月25日(木)	6人	小学5年生~中学生
障害者支援施設 「永耕園」	7月26日(金)	4人	小学5年生以上
児童養護施設 「ゆりかご園」	8月 1日(木)	2人	専門学校・短大・大学生
潤生園在宅介護総合センター 「れんげの里」	8月 2日(金)	6人	小学5年生以上
児童発達支援センター 「ほうあんふじ」	8月 6日(火)	3人	高校生以上
介護老人保健施設 「悠久」	8月 7日(水)	8人	中学生以上
特別養護老人ホーム 「西湘老人ホーム」	8月 9日(金)	15人	中学生以上
介護老人保健施設 「リバーイースト」	8月19日(月)	4人	小学5年生以上
障害者支援施設 「よるべ沼代」	8月20日(火)	6人	小学5年生以上
特別養護老人ホーム 「陽光の園」	8月22日(木)	6人	小学5年生~高校生
障害者支援施設 「ほうあんふじみのさと」	8月23日(金)	2人	中学生以上

※希望者多数の場合、小学生~専門学校生、大学生を優先させていただく場合があります。

※申込みの際に連絡先をお聞きし、体験する施設の担当者に提供します。

- ◆対象…小学校5年生~社会人
- ◆費用…交通費・食費・保険料
- ◆主催…小田原市社会福祉協議会
- ◆後援…小田原市
- ◆申込・問…7月1日(月)から電話で受付、先着順

小田原市社会福祉協議会 Tel 0465-35-4000

…裏面もご覧下さい!

お友達や兄弟と  
一緒に参加も  
大歓迎です☆



# 昨年の参加者の感想より

## 特別養護老人ホームの体験

今回の体験を通して、改めて人と関わる仕事の大切さについて考え直す良い機会となりました。

車イス体験では、坂道や小さな段差、押されるスピードが速いだけで恐怖を感じるため、その恐怖感を減らすためには常に声かけをしながら、ゆっくり安全に進むことが大切だと思いました。また、昼食の際には、施設の職員さんは利用者の方に目を配り食事を見守ったり、ゆっくり食べるように声をかけたりしていました。一人ひとりに合わせた会話をしている姿を見て、利用者の方を良く知り、良い人間関係を築くことが大切だと感じました。

今回の体験を通して、何事も声かけをすることが大切であり、相手を安心させるために一番必要なことであると感じました。将来、医療職に就きたいと思っているので、体験し感じたことを忘れずに、今後の実習などに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

(大学1年生 女性)

## 障害者施設の体験

初めに先生から笑顔で接すること。なるべく一人で出来るように見守りどうしても出来ない時にやさしく手伝ってあげることなど教えてもらいました。

プール遊びの準備体操で一人の個が準備体操を嫌がりました。声をかけましたが、首を横にふり答えてくれませんでした。そこで先生がやりたくなる気持ちになったときにそっと声をかけてみようかと教えていただき、体操しながらその子の様子を見ていました。するとスクッと立ち上がって輪の中に入ることが出来ました。自分が楽しいからといって無理にさそうといやな気持ちになってやりたくない強く思ってしまったことが分かり、少し待つ、様子を見るのが大事なんだと勉強になりました。

今回の体験を通して、先生は一人ひとりの子供のことがとてもよく分かっていて、信頼関係で結ばれているんだと思いました。

(小学6年生 女性)

# こんな体験をします！

～高齢者施設（デイサービス）のようす～

9:30

集合・オリエンテーション



10:00

福祉車両・車イス体験



12:00

昼食の準備とお世話



15:30

利用者さんお見送り・解散



14:00

体操・レクリエーションに参加



※体験の内容や時間は施設によって異なります

小学5年生から大人まで、たくさんのかたの参加をお待ちしています！